

33-5 建設 CALS/EC 実証フィールド実験のためのデータ交換技術について

建設省近畿地方建設局		山本一浩
環境システム工学科	教授	小林一郎
	助手	星野裕司
大学院自然科学研究科	後期課程	緒方正剛

This paper discusses and investigates the important issues of the construction CALS/EC. A new data exchange system supported by the Web-technology is tried to develop to solve their problems, which is not necessary to use special hardware and software.

In this paper, two pilot trials are implemented to examine and to confirm it. They are: the Daidogawa dam construction project in Shiga pref. and the Sashiki bridge construction project in Kumamoto pref., Japan.

現在、建設 CALS/EC の実現に向けて大きな課題となるのが、各種電子データの標準化である。本論文では、データ交換技術の全体の枠組みから考察し、既存のウェブ技術を用いることで、コンピュータの機種やソフトウェアの種類に依存しないシステムの構築を試みた。まず、共有サーバと第三者認証について提案し、次に、工事規模の大小を問わず交換・共有されるデータとして、文書データ、写真データの2つに着目してシステムを構築した。そして、それぞれのデータ交換に対して、実証フィールド実験を行い、システムの有効性や問題点などについて考察を加えた。

(土木学会第25回土木情報システム論文集, 第9巻, pp. 1-10, 2000年10月)